

# 一般質問19人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、図書館、公民館、庁舎、地区行政センターなどの公共施設、ホームページまたは議会事務局にて閲覧できます。なお、3月定例会会議録は6月中旬から閲覧可能です。

## 深谷 幸次郎

**問** 白河市の当初予算について、道路特定財源の暫定税率が廃止された場合の影響額はどれくらいか。

**答** 地方道路譲与税、自動車重量譲与税、自動車取得税交付金、地方道路整備臨時交付金と合わせて、5億5485万9000円の減収が予想されます。

**問** 本市の企業誘致の促進について、今後の具体的な推進策をどのように進めていくのか。

**答** 首都圏に隣接して高速交通網が整備され、強固な地盤を持つ本市の優位性をPRし、県や関係機関と連携を図り、更には地域企業の紹介などを活用し、企業訪問や情報発信を積極的に行い、企業側のニーズの把握に努め企業の誘致促進を展開していきます。

**問** 白河市では、旧市村ごとに成人式を開催しているが、

合併後の一体感の醸成を図るためにも、一本化して実施すべきと考えるがどうか。

**答** 合併協定に基づき平成18年から今年の成人式まで、同じ日に4地域の会場で実施してきました。今後は、市民の一体感の醸成のために、一本化の方向で検討していきたいと考えています。

## 深谷 政男

**問** 平成20年度米の生産調整をどのように推進しているのか。

**答** 市、県、JAや白河市水田農業推進協議会が中心となり、説明会の開催、個別訪問により推進を図っています。

**問** 生産調整達成のためには転作奨励品目の開発が必要と思うが、考えを聞きます。

**答** 転作物物の開発は重要と認識している。「白河市農産物ブランド化促進研究会」において、調整・研究を進めながら転作を奨励していきます。

**問** 借宿廃寺の国史跡指定の見直しについて説明願います。

**答** 今年度の発掘調査の結果、塔跡と金堂跡の北側から講堂跡の基礎と考えられる遺構が発見され、法隆寺式の伽藍配置であることが特定され、また、博仏が新たに発見されました。今後史跡指定の申請をしていきます。

**問** 道路の整備計画等について聞きます。

**答** 久田野停車場線の舟田工区については一部着工する予定。関辺本沼線の双石地区の北側カーブ直角構造について、法線も含め今後検討。八竜神形見坂線については100mの暫定改良を予定しています。



関辺本沼線

## 柳路 幸雄

**問** 道の駅予定地旧西酪跡地について

**答** 道の駅として旧西酪跡地も候補地と位置付け庁内、国、関係機関と検討を重ねてきましたが、施設内容、実施主体、採算性を検討する必要があると考えます。今後、国道4号の四車線化、白河中央スマートインターチェンジの設置、国道289号甲子トンネルの開通により道路利用者の休憩施設は必要と認識しています。今後、国や県、トラック協会、地元住民と協議し設置に向けて調査研究を行ってまいります。

**問** 19年度事務事業評価について

**答** 20年度予算に反映させるために「各種補助事業」及び昨年度行政評価を実施した事業のうち、評価結果が「見直し・改善」「統合・再編」となった140の事業を実施しました。各種補助事業は評価結果に基づき財政査定が行われ、20年度当初予算に反映されています。140の事業中「維持」「見直し・改善」以外で見直し必要と判断された事業は、状況把握を行い、いつ、どの部署

## 穂積 栄治

**問** 滞納整理に対する、市の取り組み方針について。

**答** 納税に応じない場合、財産の差押えを執行しており、12月末現在で554人に対して、預貯金や給与・家賃・生命保険など、債権の差押えを行ったところ。税負担の公平性から、毅然とした対応が求められていると考えています。

**問** 納税方法の改善策として、コンビニやクレジットカードでの納税について検討してはどうか。

**答** 費用対効果などメリット・デメリットについて、今後研究をしていきます。

**問** 表郷図書館（仮称）の位置づけはどうなるのか。

**答** 東図書館、中山義秀記念文学館と同様に独立した図書館として考えています。

**問** 学校給食について、「食」の海外依存による安全確保の問題、輸入農産物引き起こす地球温暖化の問題などの観点から、市内小中学校の米飯給食回数を増やす考えはないか。

**答** 食の安全や、地球環境という大きな視点からも米は100%地産地消を実現しています。米飯給食の実施回数を少しでも増やすよう、給食センターや単独実施校と連携をとりながら検討していきます。

## 石名 国光

**問** 新図書館は市民の声を聞き、設計を変更することあり、財政状況がよくなるまで、場所も含め、慎重に扱われたい。

**答** 昨年10月から説明会を開き、広く意見を伺い、当初予定地に多機能な施設を整備する修正を行うことになりました。財源については、「まちづくり交付金」や「合併特例債」の活用と準備を進めます。



八竜神形見坂線

**問** 老人保健では資格証明書発行が対象外であるが、後期高齢者医療制度ではどうなるのか。

**答** 国保と同様、滞納者対策として資格証明書を交付することになります。

**問** 市民への周知方法、運用開始後の相談窓口はどこか。また、高齢者の生活実態から、安全で安心した暮らしができるよう、全国市長会等で見直し等を含め主張していただきたい。

**答** 国保広報誌・後期高齢者医療制度パンフレットや広報白河で配布周知してきましたが、3月末の被保険者証を送付する際、小冊子を同封し周知を図ります。

市民に一番身近な、市の窓口で、直接被保険者本人又は家族からの相談に応じます。

## 大竹 功一

**問** 循環バスについて、現在まで1便当たりの平均乗客は何人か。また、高齢者に対する交通手段として他地域で導入されているデマンド・タクシーはどうか。

**答** 平均で1日当たり59・5人、1便当たり4.2人で1便当

たりの運行経費は約5500円です。デマンド・タクシーについてはタクシー事業者やバス事業者の同意が必要となることなど難しい問題がありますが、今後検討していきたいと思えます。

**問** 図書館建設について、意見集約の結果は。また、今後の予定については。

**答** 多目的ホール、公民館機能の充実や外観の変更等を求めるものなど多くの意見をちょうだいしました。これらを踏まえ、多目的コンベンションホール機能の追加、三層吹き抜けの形態を二層に見直すことなどを中心に設計の変更に取り組んでいきます。また、今後の予定については、実施設計の工期を本年12月までとし、21年度に工事着工、22年度竣工を予定しております。

## 高橋 光雄

**問** 平成20年度事業及び合併特例期間中に予定している諸事業は、財政健全化計画・公債負担適正化計画の枠内で行うのか。

**答** 財政規律を遵守して、両計画の枠内で行います。

**問** これまでには、通学路整

備を含む南部中学校建設事業費、スマートインターチェンジ建設事業費、循環バス事業費など、当初、議会に提出された事業内容と予算が大きく変わった事業が多々ある。財政規律を遵守する上からも、今後こういうことをなくすと約束できるか。

**答** 約束します。



工業の森・新白河

**問** 企業立地課、こども課、地域づくり課は何をするのか。また、地域協議会、地域づくり協議会の連絡協議会が必要と思うか。

**答** 企業立地課は、地域産業の振興、企業誘致の促進を専属的に行います。こども課は、少子化対策を総合的に行うた

がどんな方法で進めるか担当課と協議し、20年度に見直しを行い進捗管理に努めます。

**問** 滞納整理に対する、市の取り組み方針について。

**答** 納税に応じない場合、財産の差押えを執行しており、12月末現在で554人に対して、預貯金や給与・家賃・生命保険など、債権の差押えを行ったところ。税負担の公平性から、毅然とした対応が求められていると考えています。

**問** 納税方法の改善策として、コンビニやクレジットカードでの納税について検討してはどうか。

**答** 費用対効果などメリット・デメリットについて、今後研究をしていきます。

**問** 表郷図書館（仮称）の位置づけはどうなるのか。

**答** 東図書館、中山義秀記念文学館と同様に独立した図書館として考えています。

**問** 学校給食について、「食」の海外依存による安全確保の問題、輸入農産物引き起こす地球温暖化の問題などの観点から、市内小中学校の米飯給食回数を増やす考えはないか。

め、保健福祉部と教育委員会でやってきたことにも関する施策を一体的に行います。地域づくり課は、個性豊かな地域運営を行い市民協働のまちづくりを推進します。また、連絡協議会の必要性は十分認識しています。

## 藤田 文夫

**問** 特別支援教育に関する取り組みについて

**答** 就学指導委員会を設置し、普通学級に在籍する特別に支援が必要な児童生徒の望ましい就学先や指導のあり方について検討しております。児童生徒の障がいの状況によって、特に配慮が必要な児童生徒には、個別に指導に当たる特別支援教育支援員を配置していきます。特別支援教育支援員は、普通学級等に在籍している肢体不自由などの、身体的な障がいに対する介助や注意欠陥多動性障がいなど、発達障がいのある児童生徒に対する学習支援を行っています。

**問** 財源確保対策として、ふるさと納税制度の活用と寄付金条例の制定について

**答** いくつかの自治体で、寄



ています。本市においても、ゆかりのある方々との交流を深めるため、ひいては白河市の財政健全化に多少なりとも資するため、本制度への対応は重要であり、今後、今後条例の制定も視野に入れながら、先進事例についても調査研究していきます。

### 佐川京子

**問** 地場産業の振興のために、市内の主な観光地に白河土産や地場産業のPR・販売をする、常設の土産物産店の設置を要望します。

**答** 小峰城等では、売店の運営方法、観光ゾーンにおける仮設の土産販売所の設置等を含め、幅広い検討をしていきます。



小峰城・仮設売店

**問** 市内観光地をはじめ、公共のトイレ等衛生施設の整備、クリーンアップ作戦を展開して、白河のイメージアップに取り組んでいただきたい。

るうえから、大変重要であると認識しております。要望内容は、生活道路に関するものが大半であり、工事内容は、多岐にわたっており、政策形成の中でできるだけ市民に情報を開示する方向で検討努力していきたいと考えております。

**問** 庁内部署の管轄について

**問** 市有車燃料購入契約について

**答** 町内会、自治会の担当については、今後市民協働の業務の推移を見て見直しを図ります。こども課は、教育委員会で担い、場所は一階の社会福祉課児童係の場所を予定しています。

**答** 現在の契約単価は、ガソリン152円、軽油132円となっております。中通り地区行政区においてはほぼ同一の契約単価となっております。

**問** 結婚相談員制度について

**問** 吾妻一郎 食の安心安全について

**答** ふれあいの場創出事業は次年度も継続して実施します。結婚相談員制度は更に調査、研究を進めていきます。

**問** 中国製冷凍餃子の市内での販売、また、小中学校及び公共施設での食材の原産地、購入先、さらに今後の食材の調達について伺います。

**答** 道路整備に関しては、各地域協議会をはじめ、各町内会等からの強い要望があり、新市全体の均衡ある発展を図

**答** 販売されたことは否定できない、なお、県南保健事務所に2件の相談が寄せられた

使わず、極力地元産にしたい。

**問** 施設の充実と児童への機

を図っていききたいと考えています。

会の平等策として東体育館に

**問** 今年の生産調整はどのよ

ミニバスのゴール設置を望む。

**答** 白河市では145・3%と大幅に超過しており、国県からも平成20年生産調整目標を達成するよう強い要望があります。

**答** 設置に向けて考えていま

す。

**星 吉 明**

大信中島地区農業用排水路

整備工事について

**問** 合併後の工事中断理由について伺います。

**問** 生産調整を推進するために

**答** 工事は平成16年度に着工し、平成17年度までに、排水路延長1048mのうち115mを施工しましたが、平成18年度は厳しい財政状況により実施されませんでした。

**問** 今年度の100万円の補正予算と工事内容について伺います。

**答** 地域の現状を考慮し、災害防止の観点から、100万円の補正予算により、幅130cmの大型排水路11mと幅90cmの排水路39mの延長工事を実施しているところと

**問** 学校の給食の安全確認について、どのようにしているのか。

**問** 今後の事業計画について伺います。

**答** 信頼できる納入業者の選定と、日ごろの栄養士による食材の製造年月日や品質検査の徹底を図り、責任者による検査や保存食の保管に注意を払うなど、衛生管理の徹底を図ります。給食センターにおいても同様に、厳格な管理を心がけて、安全安心に取り組



給食センター

**問** 市役所昼休み時間延長

**答** 福島県や3市が昼休みを1時間に変更している現状から、白河市においても職員アンケートを実施するなど検討しています。白河飲食業組合から今年の2月27日に「お昼休み時間の延長について」陳情書が提出されているところ

**問** 山本忠男 災害時の要援護者に対する避難支援について伺う。

**答** 昨年9月の「福島県総合防災訓練」で、「避難支援プラン」の必要性や課題等を検証、要援護者対策は喫緊の課題と認識しており、「災害時要援護者避難支援プラン全体計画」の策定に着手していき

**問** 新たな治安対策で、「青色防犯灯」の設置を提案する。

**問** 「組織機構見直し案」は

**答** 青色防犯灯は犯罪抑止の目的で警察が設置し、効果が

が問題はなかった。一部外国産の食材の使用があるが、今後はできるだけ地元産、国内産を使用する努力をします。

山の下の草刈も含め適正管理を進めます。

**問** 農業振興について

**問** 水野谷 正 則 一体化の推進と均衡ある発展には道路整備が不可欠。

**問** 世界的に穀物不足、食糧危機が言われる中、減反、生産調整は必要なのか、また、市の米生産の位置づけも含めて伺います。

**答** 「表郷桜岡〜東千田線」と「白河東部地区と大信増見間」は、関係機関と協議を進めます。「産業道路の東形見地内の丁字路交差点」は、新年度において詳細を調査します。「表郷河東田〜東畑中金子線」は、オーバーレイ等を計画していきます。また、旧村境付近の杉林の伐採も進めたい。

**問** 南湖公園周辺整備について

**問** 4地域の住民と行政との新たな協働参画事業について

**答** 生産調整の問題、課題はあるが、国の政策は進めざるを得ない。また、白河米のブランド化を進める。さらに農業施設整備については支援のための予算を計上しました。

**答** 財政負担が生じるので既存のイベント等への参加を促進して一体化を図りたい。

**問** 合併記念日の創設について

**問** 安全な学校給食について

**答** 今年度の予算で駐車場(大型バス用)の整備を実施、東側駐車場トイレは、県に設置要請、公園内店舗裏側の月待

**答** 公共施設の無料化や記念イベントの開催を検討します。

**問** 釜小の緊急進入路は都市計画法上からも整備が必要では。

**答** 認識しています。財政を考慮し、計画に反映させたい。

**問** 防犯カラーホールを「子どもひなんの家」の店舗に常設を依頼し、犯人追跡や犯罪抑止に活用してはどうか。

**答** 犯罪を抑止する効果が期待できるので、広く関係機関とともに働きかけます。

**問** 視覚障害者のための音声コード(SPCコード)の導入を。

**問** 学校耐震化の推進を。

**答** 障がい者福祉計画での庁内関係各課による障がい者施策調整会議の中で、全庁的な取り組みとして調査検討します。

**問** 平成20年度予算に白河一小の調査委託料を計上、今後

**問** 市民生活の現状から見た施政方針について

**問** 伊藤 邦 光

**答** 平成18年度決算で、市税の滞納繰越額12億2000万円、国保税9億1000万円、合わせた滞納繰越額は21億3000万円、実人数で5553人、これが市民生活の現状です。

**問** この現状にしっかり向き合い市民の暮らしを守る方向、市民にとって「安心」と「希



# 総括質疑

## 白河駅前自転車等駐車場の管理委託料について

**穂積 栄治**

**問** 設置目的が駅前の整理ということですが、当初から収支に差がありました。近年その差が広がってきております。委託料の全部が人件費であり、今後はJR側で管理できないか声を掛けています。一方で、利用の少ない時間帯や、土曜・日曜日など、ほとんど利用の無い日を、無人化するなどの見直しをしていきたいと考えています。



白河駅前自転車等駐車場

**答** 設置目的が駅前の整理ということですが、当初から収支に差がありました。近年その差が広がってきております。委託料の全部が人件費であり、今後はJR側で管理できないか声を掛けています。一方で、利用の少ない時間帯や、土曜・日曜日など、ほとんど利用の無い日を、無人化するなどの見直しをしていきたいと考えています。

## 須藤 博之

**問** 預かり保育の内容と予定人数、料金はどうか。

**答** 月々金曜日までの午前7時30分～8時30分、午後2時～6時まで実施し、予定人数は98名。料金は条例により月額一人3000円、一時預かりは一日一人300円と規定されています。

**問** 駐車場の利用状況はどうなっているのか。

**答** 一日の平均利用状況については133台、年間約4万8500台で、収入は約159万円、収支に占める割合は約30%となっています。

**問** 平成18年度の決算で、年間368万円の赤字になっているが今後どのような対応をとっていくのか。

**問** 同じ市民であるのに私立と公立との料金格差があまりに大きいと感じるがどうか。

**答** 現在の預かり保育料は、合併協定により決定された経過もあり、現時点においては

制度の拡充については、県に対し所得制限の撤廃や対象年齢の引き上げなどを要望しており、今後の制度運営に当たっては、子育て支援の観点から財政的負担を考慮しながら検討したいと考えています。

**問** 2006年12月議会、森山議員が対象年齢を中学校卒業まで引き上げるよう求め、必要な財源について質問したところ、3.5億円程度となるため実施できないとの答弁がありました。子育て支援策として、ほんとうに対象年齢引き上げの考えはあるのですか。

**答** 望ましい事業とは考えておりますが、子育て支援については、厳しい財政状況の中、国・県の補助制度を活用できる事業を優先しています。



国道4号拡張状況

望」の持てる方針と政策が求められていると思いますが、伺います。

**国保税が生活費課税になっているのが最大の原因、この減免制度の創設と充実を。**

**答** 滞納問題、これは一連の構造改革に伴う地方への痛みが原因。この問題をどう解決するか。私は、地域の経済を強くして雇用を確保し、産業の集積を図ることによって解決をしていく問題と思わざるを得ない。減免規定につきましては、従来の減免規定は厳し過ぎたと思われまますので、それを踏まえまして、白河市として具体的に対応していきたいと思っております。

## 山口 耕治

**問** 学校給食の安全性について、食の安全確保の面から生産協力団体の育成をして、地元産の供給率を上げるための取り組みの現況と今後の取り組みについての考え方はどうか。

**答** 地産地消の取り組みについては、各給食センターや各学校において、それぞれの実情に合わせて取り組んでいるところですが、今後につきましても、関係する機関の協力を

得ながら、地産地消の取り組みを強化していきます。

**問** 職員の他の地方公共団体等への派遣研修について

**答** 職員の派遣研修の目的は、職員の資質の向上と、知識や経験を有する人材の育成を図るためのものであり、派遣の成果について、他行政機関での業務の経験を市の業務に反映させることができ、人材育成が図れているところです。今後検討していきたい。

## 深谷 弘

**問** 本市の産業・観光行政の発展の起爆剤として、ワイナリーについて研究してはどうか。

**答** 今後、有識者の意見を聞きながら、その可能性について、検討していきたい。

**子どもの医療費無料制度**

**問** 日本共産党市議団は、予算要望書で、子どもの医療費無料制度について、対象年齢の段階的引き上げを検討・実施するよう求めました。回答は「現段階では考えておりませんが、どういった意味なのでしょう。」

**答** 回答した時点において検討していないという意味です。

私立と公立の差はやむを得ないと考えています。

**問** 白河三小放課後児童クラブの人数、施設面積、狭隘対策はどうか。

**答** 94名、96㎡で、施設面積に対し入会児童数が特に多く、活用できる空き教室を確保することが見込めないことから、学校施設以外の施設の可能性についても、調査・検討を行っているところです。

**問** 平成20年度子ども教室開設校と活動内容はどうか。

**答** 白河三小では学習や物づくり活動などを、信夫二小では自然体験活動などを、地域の協力を得て行います。

## 高橋 光雄

**地方バス路線について**

**問** 本市が補助金を交付しているバス路線の種類と路線数は。

**答** 補助対象バス路線の種類は、一部国庫補助、県費補助の入るもの、市単独補助対象路線の3種がある。補助額は、いずれも要綱に基づき市長が定めます。平成19年の路線数は20路線で、他に市内循環バスがあります。

**問** 市内循環バスを除いた、

平成20年度の当初地方バス路線維持対策事業費補助金は、4487万4000円を計上している。平成19年度は、当初地方バス路線維持対策事業費補助金として、1467万1000円を計上し、3月に3602万3000円を補正計上している。一般に、当初予算額より補正額が大きくなることは想定できないし、路線数に大きな変化がない限り、補助額の変動幅もそう大きくはない。財政規律遵守の観点からも、平成20年度の当初予算のように計上するのが妥当と思うが、いかがか。

**答** 平成19年度においては、市単独分だけを当初予算に計上しました。しかし、指摘の通り年間補助額は大体決まっているので、今後は平成20年度予算のように計上します。

## 深谷 弘

**下水関係の使用料引き上げ**

**問** なぜ、下水道使用料・農業集落排水使用料など下水関係の使用料を大幅に引き上げるのですか。

**答** 公共下水道事業は供用開始から13年経過しましたが、この間使用料を一度も改定し



乙姫桜

ませんでした。事業には多額の費用がかかり、国・県からの補助金と地方債の借入により賄われています。しかし、現在の使用料では終末処理場の維持管理費用しか賄えず、資本費（元利償還金）は一般会計からの繰入金で補てんされています。農業集落排水事業についても同様です。財政健全化計画に即した事業経営等も考え合わせ、使用者負担の原則に基づき使用料の改正を提案したものです。

**問** 市民の暮らしが大変なこと、市民の負担を増やすことは余りにもタイミングが悪過

# AED使用講習会

2月25日全員協議会が閉会后、議員を対象に全員協議会室において、白河消防職員からAED（自動体外式除細動器）の使用や基本的心肺蘇生処置に係る普通救命講習を受講しました。



実技風景・心臓マッサージ

これは、本庁舎1階ロビーにAEDが設置されたことに伴うもので、実技を含む講習を受けた後、学科試験に合格し、「普通救命講習修了証」が交付されました。



講習風景